

製品安全データシート

会社情報



会社: ミルテニーバイオテック株式会社
 住所: 東京都江東区冬木16-10 日通永代ビル5F
 担当部門: マーケティンググループ
 電話番号: 03-5646-8910 Fax番号: 03-5646-8911
 作成(改定)日: 平成23年11月8日

製品情報

製品名	カタログNo (オーダー番号)
SG-Mouse Primary iPS Cells-T1b	130-095-685
SG-Mouse Primary iPS Cells-WP5	130-095-686
SG-Mouse Primary iPS Cells-Nneo	130-095-687
Stemgent Oct4-neo MEF (P2)	130-095-688
Stemgent Oct4-GFP MEF (P2)	130-096-230
Stemgent Mouse Primary Cells NGFP1	130-095-856
Stemgent Mouse Primary Cells NGFP2	130-095-858
Stemgent Mouse Primary Cells NGFP3	130-095-860

2-メルカプトエタノール <0.0008 % 含有

製品の一般的情報: 無臭・オレンジ色の細胞懸濁液。液体窒素保存。

組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物(毒物)

化学特性に関する情報:

危険有害成分の化学名(一般名、別名): 2-メルカプトエタノール、β-メルカプトエタノール
(2-mercaptoethanol, Thioglycol)

濃度: **0.0008% (w/w) 含有**

化学式: C₂H₆OS

CAS No.: 60-24-2 ; TSCA 有り ; EINECS 200-464-6

官報公示整理番号(化審法): 2-458

以下、2-メルカプトエタノール単一物質としてのデータシートとなります。製品の濃度に関わらず、単一物質と同様のお取り扱いをお願いいたします。

危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響: 急性毒性物質、刺激物、引火性

人の健康に対する有害な影響:

蒸気は、眼、鼻、喉、気管支、肺および皮膚を強く刺激し、炎症、頭痛などをおこす

液体との接触により、眼、皮膚を強く刺激し、皮膚炎、発赤、痛みなどをおこす

応急措置

吸入した場合：

直ちに新鮮な空気のある場所に移し、毛布等にくるんで安静にして速やかに医師の手当を受ける
呼吸が停止している場合には人工呼吸を行い、呼吸困難な場合には酸素吸入を行う

皮膚に付着した場合：

汚染した衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる
触れた部分を直ちに多量の水で洗い流し、必要であれば医師の処置を受ける

目に入った場合：直ちに清水で十分に洗い流した後、眼科医の処置を受ける

飲み込んだ場合：

口をすすぎ、直ちに医師の手当を受ける
被害者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない

火災時の措置

消火方法：

火元への燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。
消火作業は風上から行い、消火を行う人は適切な保護具を着用する

消火剤：水、泡、粉末、二酸化炭素（周囲の環境に応じて選択する）

漏出時の措置

人体に対する注意事項：

風下の人を退避させ、関係者以外の立ち入りを禁じる
作業の際、保護具を着用し風上から作業する
付近の着火源となるものは速やかに取除く
完全に回収後、汚染された場所は多量の水を用いて洗い流す

環境に対する注意事項：河川等に排出されないように注意する

取扱い及び保管上の注意

取扱い：

蒸気の吸入、および、目、皮膚、衣服への接触を避けるよう、適切な保護具を着用する
漏洩、飛散の防止
蒸気の発散をできるだけ抑え、作業環境を許容濃度以下に保つよう努める
作業終了後は手洗いを十分に行い、作業衣等に付着した場合は着替える
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え又は引きずるなどの粗暴な取扱いをしない

保管：密栓した後、冷凍庫もしくは冷暗所に保管すること
鍵のかかる毒・劇物保管庫に保管すること

暴露防止及び保護措置

設備対策:

- 蒸気の発生源を密封する設備又は局所排気装置を設ける
- 取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する

保護具: 状況に応じ、保護手袋、有機ガス用防毒マスク、保護眼鏡、保護衣、保護靴などを着用する

物理的及び化学的性質

外観: 無色透明の液体。特徴的な臭気がある
 溶解度: 水に可溶、エタノール、エーテル、ベンゼンに可溶
 引火点: 74℃

安定性及び反応性

安定性: 分解すると、有毒なガスを生じる。酸化剤、金属と反応する

有害性情報 (RTECSより引用)

刺激性: 皮膚、目、気道粘膜を刺激する (ウサギ眼 2mg にて重度)

急性毒性:

経口	ラット	LD50	244 mg/kg
	マウス	LD50	190 mg/kg
腹腔	マウス	LD50	200 mg/kg
経皮	ウサギ	LD50	150 μ L/kg
吸入	ラット	LCLo	250 ppm/8 h
	マウス	LC50	13200 mg/m ³

環境影響情報

分解性が良好と判断される物質

廃棄上の注意

原則として毒劇物ではないものにしてから廃棄すること(毒劇法施行令第40条)
 処理に関しては、適切な防護具を着用し、十分な知識を持つ専門家に相談して行うこと
 許可を受けた産業廃棄物処理業者に、有害性について充分告知した上で、処理を委託する

輸送上の注意

漏れ、転倒、落下、損傷等がないように積み込み、煮崩れの防止を確実にし、粗暴な取扱いをしないこと
 国連分類・番号: クラス6.1、等級 I ; 2966

適用法令

毒物及び劇物取締法：令第1条26の10号 毒物

労働安全衛生法：該当せず

PRTR 法：該当せず

消防法：該当せず

船舶安全法：毒物類

航空法：毒物

上記の情報は調査して記したものです。全てを網羅しておりませんので、取扱いの際には十分注意して下さい。
記載のデータや、有害性の評価に関しては、いかなる保証も与えるものではありません。
